

(学校用)

様式 A-1

平成 26 年 2 月 17
日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 佐賀県立致遠館高等学校 教諭 平方 伸之
2. 講師氏名: Baris KAHRAMAN 博士 (Mr.)
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 26 年 2 月 15 日 (土) 10:00 ~ 12:50
5. 参加生徒: 1 年生 40 人、 年 生 人、 年 生 人 (合計 40 人)
備考: (例: 理数科の生徒) 普通科の生徒
6. 講演題目: (英文)
(和文) 「ことばの研究」の面白さをあじわってみましょう
7. 講演概要:
 - ・言語学に関する基礎事項について ・トルコについて
 - ・「心理言語学」の研究内容や応用分野について
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 90 分 質疑応答時間 10 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演 生徒参加の実験
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
外国人研究者本人による日本語説明
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師作成のレジュメ
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: